



2005年5月
民主党東京都第7区総支部
中野区版号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)

民主党東京都第7区総支部

〒164-0001
東京都中野区中野2-11-2-201
TEL 03-5342-6551 FAX 03-5342-6552

【中野区版号外 連絡先】

〒165-0026
東京都中野区新井1-1-16-202
TEL 03-5345-5443 FAX 03-5345-5444



民主党公認

吉田康一郎 (37) さん

やるべきことがある!!

■治安・防犯対策

「防犯情報のメール配信を都内全域に！」

「落書き消し隊を中野でも！」

今号では、吉田康一郎さんの訴える「治安・防犯対策」の政策をご紹介します。

「安全神話」の崩壊

今、日本の治安は、深刻な状況にあります。

かつて世界でもっとも治安が良く「水と安全はタダ」と言われたのは昔話となりました。すり、空き巣、引ったくり、車上荒らし、強盗をはじめ、スキミング、振り込め詐欺、外国人を交えた組織的犯罪など、多くの犯罪が都民の生活を脅かしています。

犯罪発生状況をみると、平成16年の刑法犯の認知件数は約260万件で10年前の約1.4倍。

検挙率は、昭和63年まで長い間60%台を維持し世界最高の水準でしたが、平成16年は26.1%。

最悪であった平成13年の19.8%からは多少改善していますが、依然、犯罪大国アメリカと変わらない水準であり、犯罪者の4人に1人は捕まらずに逃げのびている状況にあります。しかも、ある学説では、統計上の認知件数の影には、その10倍に上る犯罪があるともされているのです。

「破れ窓理論」

治安を回復させるため、参考にすべきなのが、

ニューヨーク市のジュリアーニ前市長が採用した、「破れ窓理論」に基づく対策です。

「破れ窓理論」とは、割れた窓を放置してれば、次いで別の窓が破られ、あるいは他の違反行為を誘発し、ついには建物全体、地域全体が荒廃するように、小さな違反行為を放置しておくと、次第に無秩序感が醸成され、それが大きな治安の悪化につながる、というものです。

ジュリアーニ市長は、警察官を増員し、落書き消しを徹底し、無賃乗車などの軽犯罪や違反行為を厳しく取り締まり、その結果、1994年から2001年にかけてニューヨークの犯罪件数は57%減少し、殺人事件は66%減少するなど、治安が劇的に改善したのです。

警察官の増員と移動交番

石原都知事も治安の問題には最優先で取り組んでいます。警察官の増員は平成16年度に200人、平成17年度は300人が実施される予定です。また、都庁の職員が200人、警視庁に派遣されて事務を代替しており、その分警察官が現場に出て200人の増員と同じ効果をもたらし、空き交番の解消やパトロール強化に役立っています。

